

(一社) 日本砂利協会 令和元年度定時総会・全国大会が開催されました

令和元年6月12日

東京都港区のホテルにおいて(一社)日本砂利協会の令和元年度定時総会並びに全国大会が開催され、北陸支部長野県部会として本会より高見澤会長、片井副会長、松田副会長、太田副会長、高野事務局長が出席しました。

第4号議案令和元年度全国大会スローガン・決議にあたり、議長指名により、本会高見澤会長(日本砂利協会常任理事)より、スローガン、決議文、要望案が朗読・提案され、全会一致により採択されました。

総会に引続き、田口和雄高千穂大学経営学部教授による「これからの高齢者雇用を考える」と題し、他業界の取り組み事例の比較を交え、砂利採取業の高齢者雇用のあり方について、特別講演が行われました。田口教授によると、砂利採取業の原状は、高齢者雇用のモデル業界としてフロンティアであるが、高齢者確保競争が今後さらに激化するため、いかに業界としての魅力を高めるかが課題であるとまとめています。

